

「泉中学校 統合準備委員会だより」

●第2回統合準備委員会を開催しました

平成30年7月5日(木)、午後7時から泉市民館において、第2回泉中学校統合準備委員会を開催いたしました。
今年度第1回目の委員会ということで、委員の交代等もあったため、副委員長の指名、各専門部会の部会長の任命が行われました。
また、昨年度に開催された統合準備委員会、各部会での協議項目についての報告、各会の進め方についての協議も行われました。

<委員長、副委員長を紹介します>

委員長は、昨年度に引き続き泉校区コミュニティ協議会長の山内敏久さん、副委員長には委員交代により、赤羽根校区コミュニティ協議会長の中村文紀さんが新たに指名されました。

<各部会の部会長と主な検討事項をお知らせします>

今後は、平成33年4月の統合を円滑に実施していくため、4つの部会を中心に話し合いを進めていきます。

部会名	部会長	主な検討事項
総務部会	泉中学校長 小久保 浩明	式典行事（閉校式、閉校記念誌、出発式）、歴史・伝統の保存 など
P T A 部会	赤羽根中学校長 樽谷 哲郎	現P T A組織の解散、新P T A組織の編成 など
学校運営部会	赤羽根中学校長 樽谷 哲郎	事前交流事業、学校行事、服装・持ち物・校則、部活動の運営計画、生徒会の役員選出 など
通学・安全部会	前江比間自治会長 伊藤 康弘	スクールバス利用計画（運行ルート、バス停、運行時刻）、通学路 など

●平成29年度までの各部会での検討項目

<<学校運営部会>>

項目	内容
H29年度実施交流事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ H29. 10. 19 合同合唱祭 ・ H29. 12. 8 合同長距離走駅伝大会
年間行事・日課表の比較	<ul style="list-style-type: none"> ・ 合唱祭、長距離駅伝大会は両校同時開催 ・ 冬季の日課表に少し違いあり
服装、持ち物、校則等の比較	<ul style="list-style-type: none"> ・ 下校の時間は日没30分前 ・ 現在の服装は両校とも、男子は学生服、女子はセーラー服だがリボンの色の違いあり
現在の部活動の比較	<ul style="list-style-type: none"> ・ 赤羽根中（男子）野球、剣道、バレー、ブラスバンド （女子）バレー、ソフトボール、ブラスバンド ・ 泉中（男子）野球、バスケットボール、文化部 （女子）バレー、ソフトテニス、文化部
今後の検討事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 統合後の服装（制服やジャージ）、靴、上履き等について ・ 部活動について：泉中のみにある男子バスケット部と女子テニス部をどうするか。

《PTA部会》

項目	内容
PTA会則の比較	<ul style="list-style-type: none"> ・機 関：（赤羽根）総会、理事会、支部会 （泉）総会、常任委員会、専門委員会 ・会 計：（赤羽根）5月に1年分を納入 （泉）5月と10月に半期分ずつ納入 ・会費の額：（赤羽根）3,000円（250円／月） （泉）3,600円（300円／月） ・総 数：（赤羽根）21名 （泉）15名
今後の検討事項	<ul style="list-style-type: none"> ・役員・理事の総数 ・PTA会長の分担、会長以外の役割の割振り ・委員会組織 ◎地区割りや人数等の原案をH30年度以降作成していく

《通学・安全部会》

項目	内容
遠距離通学の基本方針について	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校は概ね6km以内が適正 通学方法検討の考え方 ①概ね6km以内 ⇒ 徒歩または自転車 ②概ね6km超える ⇒ 路線バス・ぐるりんバス利用 ⇒ 路線バス等が利用できない ⇒ スクールバス
今後の検討事項	<ul style="list-style-type: none"> ・6km以内の場合も、通学路に歩道がない箇所が多く危険なため、道路整備ができるまではスクールバス利用 ・スクールバスのルート、台数、バス停等

●委員からの意見等

●部会と統合準備委員会の関係は？

⇒部会で協議、検討した内容を統合準備委員会で報告。決定をしていく。

●事務局の統合準備委員会開催スケジュール案では次回は2月開催となっているが、学校運営部会では部活動の件など早急に決定しなければならない事項がある。11月か12月に統合準備委員会を開催してほしい。

⇒11月に統合準備委員会の開催を追加する。細かい日程は委員長、部会長と相談。

●現在小学校6年の子が中学3年の時に統合となる。部活動などは早急に決めていただきたい。

⇒部活動など早急に決めなければいけないことは、学校間でもすでに調整がすすめられているので、その調整内容を部会で示していく。

●統合準備委員会は予定回数にとらわれず、部会等の必要に応じて開催していくこととしたら良いのでは？

⇒部会を進めていくなかで、必要があれば統合準備委員会を開催していくようにする。

●部会等で検討していく中でも、すでに統合をしたところや、先行しているところのことを参考にしていきたいと思う。

⇒統合を経験した児童生徒・保護者を対象としたアンケート結果や先行している伊良湖岬中学校統合準備委員会の情報を委員の方々に提供できるようにする。

●委員に加えたい方がいるが、可能か？

⇒部会では有識者の方や意見を聞きたい方をオブザーバーという形で呼ぶことができるので、そういった形で部会での対応をお願いする。

●委員会だよりについて、会議の中での委員の意見、事務局の回答も掲載していくべきでは？

⇒委員会だよりの内容を精査していく。

●スクールバスのことや通学路の道路などの要望について、市はどこまでかなえてくれるのか？

⇒スクールバスについては、今後部会等で検討をしながら決定をしていく。予定している通学路は県道であるため、市から県へ道路整備の要望を出していく。

田原市教育委員会

田原市田原町南番場30-1

電話：0531-23-3530

FAX：0531-22-3811